

Compass シリーズ セットアップガイド

第 2.0 版

ネクストデザイン株式会社

目次

1. はじめに	3
2. Compass Pro のセットアップ	4
2.1 必要なソフトウェア	4
2.2 稼動条件	4
2.3 セットアップの概要	4
2.4 コンパスを解凍します	4
2.5 jp-co-nextdesign-compass¥bin¥setenv.bat を編集します	4
2.6 Firebird をインストールします (データベースサーバーまたはスタンドアロン使用の場合のみ)	4
2.7 接続先情報を変更します	5
2.8 追加情報 (別にデータベースを作成する場合)	5
2.9 その他	7
2.10 アンインストール	7
3. Compass Light のセットアップ	8
3.1 必要なソフトウェア	8
3.2 稼動条件	8
3.3 セットアップ手順	8
3.4 起動	8
3.5 アンインストール	8
4. Compass Wide のセットアップ	9
4.1 必要なソフトウェア	9
4.2 Compass と Caché の組合せパターン	9
4.3 稼動条件	9
4.4 セットアップ手順	9
4.5 起動	12
4.6 アンインストール	12

※本書の内容は予告なく変更されることがあります。

最新の内容は弊社ホームページをご覧ください。 <http://www.nextdesign.co.jp/>

1. はじめに

本書は、Compass Pro, Compass Light, Compass Wide それぞれのセットアップ方法を示したものです。
該当する製品タイプのセットアップ方法に従ってください。

2. Compass Pro のセットアップ

2.1 必要なソフトウェア

- (1) Compass Pro (jp-co-nextdesign-compass.lzh)
- (2) Firebird 1.5.1
- (3) JAVA 2 SDK 1.4.2 (参考サイト <http://java.sun.com/>)

※ Hibernate2.1.6, SWT3.0 を jp-co-nextdesign-compass.lzh に含んでいます。

2.2 稼動条件

2.2.1 動作確認済みの環境

- (1) Windows XP Professional SP1 + Firebird 1.5.1 + JAVA 2 SDK 1.4.2_04
- (2) Windows 2000 SP4 + Firebird 1.5.1 + JAVA 2 SDK 1.4.2_04

2.2.2 ハードウェア(推奨)

- (1) Pentium III 500MHz プロセッサ、192MB メモリ以上

2.3 セットアップの概要

- (1) コンパスを解凍します
- (2) jp-co-nextdesign-compass¥bin¥setenv.bat を編集します
- (3) Firebird をインストールします (データベースサーバーまたはスタンドアロン使用の場合のみ)
- (4) 接続先情報を変更します (該当する場合のみ)

2.4 コンパスを解凍します

jp-co-nextdesign-compass.jar を任意のフォルダーに解凍します。

※解凍ファイルを C:¥jp-co-nextdesign-compass として配置するとインストールが簡単です。

2.5 jp-co-nextdesign-compass¥bin¥setenv.bat を編集します

```
rem -----
rem (1) COMPASS_HOME を設定 ここを変更してください！ 変更箇所(1／1)
rem -----
set COMPASS_HOME=C:¥jp-co-nextdesign-compass ← 配置した場所に変更します。
※編集はテキストエディタ(メモ帳など)を使ってください。
```

2.6 Firebird をインストールします(データベースサーバーまたはスタンドアロン使用の場合のみ)

- (1) Firebird を入手(ダウンロード)してください

http://sourceforge.net/project/showfiles.php?group_id=9028&package_id=29791 から

Firebird-1.5.1.4481-Win32.exe をダウンロードし、任意のフォルダーに保存します。

(2) Firebird をインストールします

ダウンロード保存した Firebird-1.5.1.4481-Win32.exe を起動します。(ダブルクリックなどで起動します)

※全てデフォルトでインストールしてください。

2.7 接続先情報を変更します

2.7.1 変更が必要な場合

次の(1)(2)の場合は接続先情報の変更が必要です。

(1) データベースクライアント側の場合

(2) コンパスの場所が C:\jp-co-nextdesign-compass と違う場合

2.7.2 変更するファイル名

(1) jp-co-nextdesign-compass¥Config¥hibernate.properties ファイル

(2) jp-co-nextdesign-compass¥Config¥hibernate.cfg.xml ファイル

2.7.3 変更方法

各ファイルの「 //localhost/C:/jp-co-nextdesign-compass/compass.fdb 」部分を、コンパスの配置先に従って次の要領で変更してください。なお、変更はテキストエディタ(メモ帳など)を使ってください。

(1) コンパスを D:\jp-co-nextdesign-compass に配置した場合(ドライブ名を変更)

//localhost/**D**:/jp-co-nextdesign-compass/compass.fdb に変更する。

(2) データベースサーバー Nextdesign1 を使用する場合(ホスト名を変更)

//**Nextdesign1**/C:/jp-co-nextdesign-compass/compass.fdb に変更する。

以上で、標準のインストール作業は完了です。

次の節は、jp-co-nextdesign-compass/compass.fdb を別の名前で作成する場合に必要な情報です。通常は必要ありません。

2.8 追加情報(別にデータベースを作成する場合)

この追加情報は、ご自分でデータベースを作成する場合にのみ必要な情報です。

なお、Firebird はデフォルト C:\Program Files\Firebird\Firebird_1.5¥bin にインストールされているものとします。

2.8.1 isql コマンドを起動します

コマンドプロンプトを開き、C:\Program Files\Firebird\Firebird_1.5¥bin ディレクトリに移動します。

```
C:\>cd C:\Program Files\Firebird\Firebird_1.5¥bin
```

```
C:\Program Files\Firebird\Firebird_1.5¥bin>isql
```

```
Use CONNECT or CREATE DATABASE to specify a database
```

```
SQL>
```

このまま、次の操作を続けてください。

2.8.2 コンパス用データベースを作成します

```
SQL> create database 'C:¥jp-co-nextdesign-compass¥COMPASS.FDB' user 'sysdba' password 'masterkey';
```

※「C:¥jp-co-nextdesign-compass¥COMPASS.FDB」は任意のファイル名です。

※以下、この名前を前提に説明します。

2.8.3 コンパス用テーブルを作成します(データベースサーバーのみ)

ファイル C:¥jp-co-nextdesign-compass¥bin¥schemaexport.sql を

フォルダー C:¥Program Files¥Firebird¥Firebird_1_5¥bin の直下にコピーし、次のコマンドを実行します。

```
SQL> in schemaexport.sql;
```

※以下のメッセージが複数表示されますが、無視してください。

Statement failed, SQLCODE = -607

unsuccessful metadata update

-Table column not found

Statement failed, SQLCODE = -607

2.8.4 作成されたテーブルを確認します。(show tables コマンド)

```
SQL> show tables;
```

CAACTOR	CAACTORGROUP
CADAITAIPATH	CAEXTENSIONSTEP
CAFUKUSCENARIO	CAINCLUSIONSTEP
CAJIGOJOKENGROUP	CAJIZENJOKENGROUP
CAJOKEN	CAJOKENGROUP
CAKIHONPATH	CAOBJECT
CAPACKAGE	CAPATH
CAPROJECT	CAPROJECTMANAGER
CASCENARIO	CASHUSCENARIO
CASIMPLESTEP	CASTEP
CATEXT	CATEXTOFACTOR
CATEXTOFJOKEN	CATEXTOFSTEP
CAUSECASE	CHILD
OTHER	PARENT

2.8.5 isql コマンドを終了します。exit コマンド)

```
SQL> exit;
```

2.8.6 データを初期化します

必ず最初に、1台のクライアントから CompassPro を起動して、そのまま終了してください。

この作業を複数のクライアントから行くと、1台のクライアントをお除き、他のクライアントから行われた操作は無視されます。

2.9 その他

コンパスの配布ファイルは、JDBC ドライバー Jaybird (V1.5.5 Release) を含んでいます。

ご使用の Firebird のバージョンによっては Jaybird のバージョンも変える必要があるかもしれません。

その場合は、C:\¥jp-co-nextdesign-compass¥lib¥firebirdsql-full.jar ファイルを置き換えてください。

※ドライバーは以下のサイトから入手できます。

<http://firebird.sourceforge.net/index.php?op=files&id=jaybird>

5th Dec 2004 Jaybird for JDK 1.4 (.zip) (2.15mb)

2.10 アンインストール

(1) Firebird を停止します

コントロールパネル → Firebird Server Manager → Stop

(2) Firebird を削除します

コントロールパネル → アプリケーションの追加と削除

(3) jp-co-nextdesign-compass を削除します

エクスプローラでフォルダーを削除してください

3. Compass Light のセットアップ

3.1 必要なソフトウェア

- (1) Compass Light (jp-co-nextdesign-compass.lzh)
- (2) JAVA 2 SDK 1.4.2 (参考サイト <http://java.sun.com/>)

※ SWT3.0 を jp-co-nextdesign-compass.lzh に含んでいます。

3.2 稼動条件

3.2.1 動作確認済みの環境

- (1) Windows XP Professional SP1 + JAVA 2 SDK 1.4.2_04
- (2) Windows 2000 SP4 + JAVA 2 SDK 1.4.2_04

3.2.2 ハードウェア(推奨)

- (1) Pentium III 500MHz プロセッサ、192MB メモリ以上

3.3 セットアップ手順

- (1) jp-co-nextdesign-compass.lzh を解凍します。
- (2) jp-co-nextdesign-compass フォルダを任意の場所に配置します。
- (3) jp-co-nextdesign-compass¥bin¥setenv.bat を編集します。

```
rem -----  
rem (1) COMPASS_HOME を設定 ここを変更してください！ 変更箇所(1／1)  
rem -----  
set COMPASS_HOME=C:¥jp-co-nextdesign-compass ← 配置した場所に変更します。  
※編集はテキストエディタ(メモ帳など)を使ってください。
```

3.4 起動

- (1) jp-co-nextdesign-compass¥bin¥compass.bat を起動します。

※compass.bat のショートカットをデスクトップに作成すれば次回からの起動が簡単になります。

3.5 アンインストール

- (1) jp-co-nextdesign-compass フォルダを削除します。

4. Compass Wide のセットアップ

4.1 必要なソフトウェア

(1) Compass

(2) Caché 5 (キャッシュ 5 InterSystems 社製データベース <http://www.intersystems.co.jp/>)

(3) JAVA 2 SDK 1.4.2 (参考サイト <http://java.sun.com/>)

※ SWT を jp-co-nextdesign-compass.lzh に含んでいます。

4.2 Compass と Caché の組合せパターン

組合せ	Compass	Caché 5 (5.0.8 以上)
パターン1	シングルユーザー版	フリーダウンロード版 (注 1)
		Caché 5 製品版
パターン2	製品版 (単体版)	Caché 5 製品版
パターン3	製品版 (完全版)	Compass 製品版に同梱されます

(注 1) Caché 5 製品版をお持ちでない場合は、インターシステムズジャパン株式会社のサイトからダウンロード (無償) できます。 <http://www.intersystems.co.jp/cache/downloads/index.asp>

4.3 稼動条件

4.3.1 動作確認済みの環境

(1) Windows XP Professional SP1 + JAVA 2 SDK 1.4.2_04 + Caché 5.0.8

(2) Windows 2000 SP4 + JAVA 2 SDK 1.4.2_04 + Caché 5.0.8

4.3.2 ハードウェア (推奨)

(1) Pentium III 500MHz プロセッサ、192MB メモリ以上

(2) 120MB 以上のハードディスク空き容量 (ユーザデータのディスクスペースは含みません)

4.4 セットアップ手順

4.4.1 Compass のセットアップ手順

(1) jp-co-nextdesign-compass.lzh を <http://www.nextdesign.co.jp/> からダウンロードします。

(2) jp-co-nextdesign-compass.lzh を任意の場所に解凍します。

※ このインストールガイドでは、解凍先を C:¥、解凍後に C:¥jp-co-nextdesign-compass が作成されたものとして以下ご説明します。

4.4.2 Caché のセットアップ手順

Caché のダウンロードおよびインストール方法に関する詳細は、インターシステムズジャパン株式会社のホームページをご覧ください。 <http://www.intersystems.co.jp/>

(概要)

(1) ダウンロードページ <http://www.intersystems.co.jp/cache/downloads/index.asp> にアクセスします。

(2) お客様情報(メールアドレスなど)を入力し送信します。

(3) 登録が完了すると、「ダウンロード案内メール」が登録したメールアドレスに送られてきます。

「ダウンロード案内メール」に、FTP サイト、アクセスユーザ名、パスワードが書かれています。

(4) CachePCKit.exe をダウンロードします。

(5) CachePCKit.exe を実行します。(注1)

(6) インストーラの案内に従ってインストールします。(インストール先はデフォルトを推奨します)

(7) インストールが完了するとタスクバーに青色の立方体のアイコンが表示されます。

(注1) IIS の FTP サービスがインストールされていない場合は、Caché インストールの最後で「アプリケーションエラー」が表示されます。この場合、OK ボタンを押していただければ問題ありません。

※ このインストールガイドでは、インストール先を C:\CacheSys として以下ご説明します。

4.4.3 Compass 定義情報のコピー

定義情報のコピーは3つのケースに分かれます。

(ケース 1) Caché をはじめてインストールし、デフォルト(C:\CacheSys)にインストールした場合

(ケース 2) Caché をすでに使用中で、デフォルト(C:\CacheSys)にインストールされている場合

(ケース 3) その他の場合

4.4.4 (ケース 1) Caché をはじめてインストールし、デフォルト(C:\CacheSys)にインストールした場合

(1) C:\jp-co-nextdesign-compass¥export¥Compass フォルダを、C:\CacheSys¥Mgr の下にコピーします。

(2) C:\jp-co-nextdesign-compass¥export¥cache.cpf ファイルを、C:\CacheSys の下にコピー(上書き)します。

(3) Caché データベースを再起動します。(再起動手順は、タスクバーの Caché アイコンを左クリック → Cache の停止 → 再起動)

4.4.5 (ケース 2) Caché をすでに使用中で、デフォルト(C:\CacheSys)にインストールされている場合

(1) C:\jp-co-nextdesign-compass¥export¥Compass フォルダを、C:\CacheSys¥Mgr の下にコピーします。

(2) 構成マネージャを起動します。(タスクバーの Caché アイコンまたは、スタートボタン→Cache から)

(3) ネームスペースタブを選択します。(ネームスペースのリストに COMPASS は表示されません)

(4) 追加ボタンを押下します。

(5) ネームスペース名として COMPASS を入力し、次へ。

(6) 新規データベースの定義ボタンを押下します。

(7) データベースウィザードのデータベース名の設定で COMPASS と入力し、次へ。

(8) データベースウィザードのローカルディレクトリの選択で、c:\cachesys¥Mgr¥Compass を選択し、次へ。

(9) ダイアログ「c:\cachesys¥Mgr¥Compass¥CACHE.DAT はすでに存在します。使用しますか？」で「はい」を押下します。

(10) データベースウィザード-完了で、完了ボタンを押下します。

(11) ネームスペースウィザード-完了で、完了ボタンを押下します。

(12) Cache 構成マネージャの画面が表示されたら、「OK」ボタンを押下します。

(13) ダイアログ「すべての変更は再スタートせずに有効にできます。」で「有効にする」を押下します。

4.4.6 (ケース 3) その他の場合

- (1) Caché 構成マネージャを開始(タスクバーの Caché アイコンまたは、スタートボタン→Cache から)
- (2) 構成マネージャ → ネームスペーススタブ → 追加ボタン →
- (3) ネームスペースウィザード-ネームスペース名の設定で、「COMPASS」と入力 → 次へ →
- (4) ネームスペースウィザード-データベースの選択で、新規データベースの定義ボタンを押下 →
- (5) データベースウィザード-データベース名の設定で、「COMPASS」と入力 → 次へ →
- (6) データベースウィザード-ローカルディレクトリ選択で、→「C:¥cachesys¥Mgr¥Compass」と入力 → 次へ →
- (7) ディレクトリ C:¥cachesys¥Mgr¥Compass は定義されていません。いますぐ作成しますか? → はい →
- (8) データベースウィザード-完了 → 完了 →
- (9) ネームスペースウィザード-完了 → 完了 →
- (10) Cache 構成マネージャ → OK →
- (11) すべての変更は、再スタートさせずに有効にすることができます → 有効に →
- (12) Caché スタジオを開始(タスクバーの Caché アイコンまたは、スタートボタン→Cache から)
- (13) スタジオ → ファイル → ネームスペースを変更 →
- (14) ネームスペース:COMPASS を選択して、OK →
- (15) スタジオ → ツール → ローカルからインポート→
- (16) C:¥jp-co-nextdesign-compass¥export¥compassproject.xml を選択して、開く →
- (17) インポートで、「すべて選択」された状態にする。(デフォルト状態)→ OK →
- (18) スタジオの出力窓に「コンパイルが正常に終了しました」が表示される。(マシンスペックによっては数分かかります)
- (19) スタジオ → ファイル → プロジェクトを名前を付けて保存 →
- (20) プロジェクトを名前を付けて保存ダイアログで、参照場所:COMPASS、ファイル名:CompassProject → 名前を付けて保存ボタンを押下 → (同じ名前があると表示された場合は、上書きします)
- (21) スタジオ → 終了

※C:¥cachesys¥Mgr¥Compass の C:¥部分は Caché をインストールされた場所により異なります。

4.4.7 環境情報の設定

Compass と Caché をインストールした場所に従って、次のファイルをテキストエディタで変更します。

- (1) 変更するファイル名

C:¥jp-co-nextdesign-compass¥bin¥setenv.bat

- (2) 変更箇所(2 ヶ所)

```
rem -----
rem (1) COMPASS_HOME を設定 ここを変更してください！ 変更箇所(1／2)
rem -----
set COMPASS_HOME=C:¥jp-co-nextdesign-compass ←ここを変更

rem -----
rem (2) CACHE_LIB を設定 ここを変更してください！ 変更箇所(2／2)
rem -----
set CACHE_LIB=C:¥CacheSys¥Dev¥Java¥Lib ←ここを変更
```

4.5 起動

(1) C:\¥jp-co-nextdesign-compass¥bin¥compass.bat を実行します。

※ デスクトップにショートカットを作成しておくと、2 回目以降の起動が簡単です。

4.6 アンインストール

4.6.1 Compass のアンインストール

(1) エクスプローラ等を使って C:\¥jp-co-nextdesign-compass フォルダを削除します。

4.6.2 Caché のアンインストール

(1) Caché'を停止します。

(2) Caché'を終了します。

(3) コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から削除します。

(4) エクスプローラ等を使って Cachékit フォルダを削除します。

(5) エクスプローラ等を使って Cachésys フォルダを削除します。